

問1 日本の就業構造に関する統計において、東京都、神奈川県、大阪府、愛知県などの大都市圏で74%以上の高い割合を示し、その他の地域と比較して際立った特徴となっている産業分類はどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 農業、林業、漁業を主体とする第一次産業 2. 鉱業、建設業、製造業を主体とする第二次産業 3. 商業、サービス業、情報通信業などを主体とする第三次産業 4. 伝統的な工芸品の製造や特定の地域資源を活用する地場産業

問2 スマートフォンや電気自動車のバッテリーなどのハイテク製品に不可欠な、地殻内での埋蔵量が少なかったり、純粋な金属として取り出すことが難しくかったりする希少な金属を何と呼びますか。アフリカ州で多く産出されるプラチナやコバルトなどがその代表例です。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. レアメタル 2. 貴金属 3. 非鉄金属 4. 軽金属

問3 名古屋港の貿易統計において、輸出額に占める自動車の割合が非常に高い数値を示している理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 京都公立入試 類似）

1. 背後地である中京工業地帯に、世界的な規模を持つ自動車産業の工場が集積しているため。 2. 海外から輸入した原油を港の周辺で精製し、付加価値の高い石油製品として輸出する拠点となっているため。 3. 内陸部で生産される電子部品を、高速道路を利用して空港へ運ぶための中継地点として整備されているため。 4. 古くから繊維工業が盛んな地域であり、その技術を応用した最新の航空機部品を主要製品として輸出しているため。

問4 バイオマス資源の活用においては、資源を広範囲から集める際に発生する「収集・運搬コスト」が大きな課題となっています。この課題を解決するために、特定の産業が発達した地域で発生する多量の廃棄物を燃料として利用する仕組みが取り入れられています。このような取り組みの背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。（2023年 広島公立入試 類似）

1. 地域の産業活動から生じる副産物を資源として再定義し、エネルギー供給の安定化とコスト削減を両立させる。 2. 化石燃料を海外から輸入する際の輸送コストを削減するために、都市部から出る廃プラスチックを優先して利用する。 3. 広大な土地に太陽光パネルを設置し、産業廃棄物の処分場を売電収入によって維持管理する。 4. 農作物の生産を一時的に停止させ、エネルギー専用の植物を大規模に栽培することで供給量を確保する。

問5 近年、日本では再生可能エネルギーの固定価格買取制度などによって太陽光発電が急速に普及しました。しかし、太陽光発電を主要な電力供給源（主力電源）として活用していく上で、解決すべき経済的・技術的な要因として正しいものはどれですか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 天候や時間帯などの自然条件によって発電量が変動するため、安定した電力供給には蓄電池の活用や他の電源による調整が必要となる。 2. 発電設備の建設費が火力発電や風力発電に比べて極めて安価であるため、供給過剰による電力価格の暴落を招く恐れがある。 3. 発電時に発生する窒素酸化物が酸性雨の原因となり、周辺の農作物の生育や森林環境に悪影響を及ぼすリスクが高い。 4. 大規模な発電所（メガソーラー）を建設しても、発電効率が極めて低いため、消費電力の多い都市部への送電には向かない。

問6 日本の貿易統計において、ある港の輸入額の上位3品目を確認すると、通信機が15.7%、医薬品が10.4%、集積回路が9.6%となっていました。このような品目が貿易の中心となっている港（空港）の性質として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 鉄鉱石や原油など、工業原料や燃料を中心とした重量が大きいものを扱っている。 2. 自動車や船舶など、大型の輸送機械の輸出に特化した大規模な設備を持っている。 3. 通信機や医薬品など、重量が軽く高価で、付加価値の高い製品を主に扱っている。 4. 衣服や食料品など、生活に密着した安価な消費物資を大量に輸入している。

問7 ロシアの広範囲に産地が分布しており、日本の輸入量全体に占めるロシアの割合が6割を超えているエネルギー資源について、その輸入動向を説明したものととして適切なものはどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 日本はこの資源の約65パーセントをロシアから輸入しており、インドネシアやアメリカも主要な輸入先となっている。 2. この資源は西アジアからの輸入が中心であり、ロシアからの輸入割合は1割に満たない。 3. この資源は主にオーストラリアから輸入されており、ロシアは第3位の輸入先である。 4. 日本はかつて国内で盛んにこの資源を産出していたが、現在は輸入のすべてをアメリカに依存している。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 商業、サービス業、情報通信業などを主体とする第三次産業	日本の産業別就業者割合は、経済の発展とともに第一次産業から第二次産業、さらには第三次産業へと重心が移ってきました。特に人口が集中し、企業の管理部門や商業施設、IT関連企業が集積する大都市圏では、サービス業や小売業などの第三次産業に従事する人の割合が極めて高くなる傾向があります。
問2	答え 1 レアメタル	ハイテク産業の「ビタミン」とも呼ばれるこれらの希少金属は、埋蔵量が限られているだけでなく、特定の国々に偏って存在していることが多いのが特徴です。そのため、リサイクル技術の開発や、産出国との安定した関係維持が産業上の重要な課題となっています。金や銀などの「貴金属」とは、希少性という点では共通しますが、主に工業用としての有用性からこの名称で区別されます。
問3	答え 1 背後地である中京工業地帯に、世界的な規模を持つ自動車産業の工場が集積しているため。	名古屋港は、日本最大の工業出荷額を誇る中京工業地帯の玄関口です。特に豊田市などを中心に自動車の組み立て工場や部品工場が密集しており、生産された完成車がこの港から世界各地へ送り出されるという産業構造があるため、輸出額および自動車の割合が極めて高くなります。
問4	答え 1 地域の産業活動から生じる副産物を資源として再定義し、エネルギー供給の安定化とコスト削減を両立させる。	バイオマス資源は広く薄く分布しているため、集めるための費用が大きな負担となります。そこで、北海道の畜産業（乳牛の排せつ物）や香川県の製麺業（廃棄うどん）のように、特定の地域で多量に発生する産業廃棄物を活用することで、運搬コストを抑えながらエネルギーを得る「地産地消」の仕組みが構築されています。これにより、環境負荷の低減と地域経済の活性化が同時に図られています。
問5	答え 1 天候や時間帯などの自然条件によって発電量が変動するため、安定した電力供給には蓄電池の活用や他の電源による調整が必要となる。	太陽光発電は太陽の光を利用する性質上、発電量が気象状況や昼夜のサイクルに依存します。こうした自然条件による変動は、電力の需要と供給のバランスを崩す要因となるため、電力を貯めておく蓄電池の整備や、他の発電方式との組み合わせによる需給調整が不可欠です。また、依然として建設費などのコストが他の発電方式と比較して高い水準にあることも、さらなる普及に向けたハードルとなっています。
問6	答え 3 通信機や医薬品など、重量が軽く高価で、付加価値の高い製品を主に扱っている。	航空機による輸送は、船舶と比較して積載できる重量に制限があり、運送費用も高くなります。そのため、成田国際空港のような空港での貿易は、通信機、医薬品、集積回路（IC）といった、重量が軽く、かつ製品の価格が高い「付加価値の高い」製品が中心となります。一方で、原油や液化天然ガス（LNG）などの重量がある資源は、輸送コストを抑えるために主に船舶で輸入されます。
問7	答え 1 日本はこの資源の約65パーセントをロシアから輸入しており、インドネシアやアメリカも主要な輸入先となっている。	ロシアは世界有数の資源大国であり、石炭の産地が国内に広く分布しています。2024年の日本の統計では、この資源の輸入先としてロシアが65.3パーセントと圧倒的なシェアを占めており、次いでインドネシアやアメリカからの輸入が多くなっています。原油などの他資源と比較して、ロシアへの依存度が非常に高いことが特徴です。